

## 言葉と人権 ⑦

### 言葉と人間関係形成

- ◆ 最近の若者は、人間関係形成能力の中心を成す言葉の運用能力が低下しているのではないかと、との指摘があります。
- ◆ そこで、言葉がもつ四つの力が人間関係の形成にどう生きて働くのか、改めて確認してみたいと思います。
- ◆ **【考える力】**は、**分析力**、**論理構築力**などを含む、**論理的思考力**です。  
**分析力**は、言葉の情報に含まれる「事実」や「根拠の明確でない推測」などを正確に見極める力です。また、自分や相手の置かれている状況を的確に捉える力であり、五感を通して入ってくる非言語情報を言語化する力でもあります。  
**論理構築力**は、相手や場面に応じた分かりやすく筋道の通った発言や文章を組み立てる力です。
- ◆ **【感じる力】**とは、相手の気持ちを感じ取る、いわゆる**情緒力**です。  
勇気、誠実、礼節、愛、倫理観、正義など、社会的、文化的な価値に関わる感性・情緒を自らのものとして受け止め、理解するのも、この情緒力によります。
- ◆ **【想像する力】**とは、経験していない事柄や現実には存在しない事柄などを推し量り、頭の中でそのイメージを思い描くことのできる力です。相手の表情や態度から、言葉に表れていない言外の思いを察するのも、この力によります。
- ◆ **【表す力】**は、考え、感じ、想像したことを表す力です。分析力や論理構築力を用いて組み立てた考えや思いを、相手や場面に配慮しつつ表現する力です。

